



令和8年2月27日号

令和7年度 学校評価について

2月24日に学校運営協議会を開催し、学校評価や来年度の学校運営協議会の活動、CS サポートの活動について、協議しました。学校評価については、12月に実施した児童・保護者アンケート結果や学校の自己評価をもとに、年度当初に設定した目標を達成できたかどうかを示し、それについて各委員の皆さんからご意見をいただきとりまとめました。

項目	自己評価	学校等関係者評価
成果（強み）	<ul style="list-style-type: none"> 児童からは「自分や友だちを大切にしている」が99.8%、保護者からも「楽しく学校生活を送っている」が96.8%と向上した。 	<p>○「中学生も小学生もよくあいさつをしてくれ、たいへん気持ちがいい」との声を地域住民からも聞く、校外でもあいさつをするようになったことが保護者アンケートの回答にも反映されている。今後もあいさつ運動の継続してほしい。</p>
課題（弱み）	<ul style="list-style-type: none"> 保護者は、家庭での読書と褒め方について、児童は、授業での発表、先生と話をするが低い回答である。 	<p>○まち探検において、CS サポートの協力により、グループ別に事業所や地域を訪問し、自分たちが学んだことを学級や学年で交流しあえる場面を設定することができ、学習の幅にひろがりをもつことができた。</p>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 思いやりの心や自他を大切にすることを育てる教育を充実させていく。 正答率半数以下の児童に対するアプローチに取り組む。 あいさつを推奨していくとともに、地域や家庭と連携した取組を進める。 家庭学習と読書の習慣化に取り組む。 	<p>○いちごや嬉野大根の栽培、会社活動などの新しい体験学習が構築された。</p>
授業の充実	<ol style="list-style-type: none"> 「授業はよく分かる」児童93.2%、保護者90.0%と向上した。 全国学力・学習状況調査では、正答率半数以下の児童が31.2%となった。 家庭学習の定着が依然として低い。 	<p>○地域の人材を紹介するなどの役割を学校運営協議会やCS コーディネータが果たすことができた。</p>
なかまづくり	<ol style="list-style-type: none"> 「自分や友だちを大切にしている」99.8%に向上した。 学級満足度尺度が73.7%となった。 レインボー班活動は、定期的を実施することができた。 	<p>○自己肯定感の涵養に取り組む必要がある。達成感や満足感を感じる体験をふやしていくことが必要である。そのためにも探究的な学びをめざした取組の発展に期待したい。</p>
開かれた学校づくりの推進	<ol style="list-style-type: none"> ホームページの総訪問者数累計が17万人となった。 4回の授業参観等が実施できた。「開放的な雰囲気」が91.5%となった。 	<p>○常に、情報交換や情報共有しながら学年団が中心となって日々の教科指導や生活指導を行なってほしい。</p>
あいさつ運動の展開	<ol style="list-style-type: none"> 「自分から進んで挨拶をしている」は保護者の回答が10%向上した。 校外でのあいさつに改善の兆しが見受けられる。 	<p>○読書活動の推進をめざして、本の紹介コーナーを設置する。</p>